

三浦市公共下水道（東部処理区）運営事業

四半期業務報告書 （2023年度第1四半期）

2023 年 6 月



三浦下水道コンセッション株式会社

目次

1. 事業実施状況	1
1-1.事業概要	1
1-2.運営体制	2
1-3.内部統制	3
2. 業務実施状況	4
2-1.経営に関する計画	4
(1) 環境対策	4
2-2.改築及び増築に関する計画	4
(1) 改築	4
(2) 増築	4
2-3.維持管理に関する計画	5
(1) 処理場・ポンプ場の維持管理	5
(2) 管路の維持管理	5
2-4.地域貢献に関する計画	5
(1) 地域貢献	5
(2) 広報活動実施計画	6
(3) 地元企業の利活用に関する事項	6
2-5.任意事業に関する計画—下水道資源を活用した高付加価値作物の生産事業	6
(1) 栽培作物の選定と栽培施設の検討	6
(2) 栽培施設の設置と栽培準備	6
3. 財務管理	7
3-1.財務状況	7
3-2.2023 年度第 1 四半期時点での KPI（財務管理目標値）の状況	7
4. 2023 年度第 1 四半期時点での KPI の状況	8

1. 事業実施状況

1-1.事業概要

1. 事業名称

三浦市公共下水道（東部処理区）運営事業

2. 施設の規模等

（1）1 日当たり処理能力

8,050 m³

（2）管路の総延長

59 k m

（3）処理区域

三浦市東部処理区



図 1-1.三浦市公共下水道（東部処理区）事業エリア

1-2.運営体制

運営体制は以下の通り。
三浦市公共下水道（東部処理区）運営事業 年度経営計画書（2023（令和 5）年度）
（以下、「2023 年度経営計画」とする。）に記載の通り、下記企業に業務委託を行っている。

- 運転管理業務委託
 計画策定支援委託、設計施工監理業務委託
 汚泥処分業務委託
 汚泥収集運搬業務委託

：（株）ウォーターエージェンシー
 日本水工設計(株)
 三浦地域資源ユーズ(株)
 運営事業開始前に、三浦市が委託していた会社

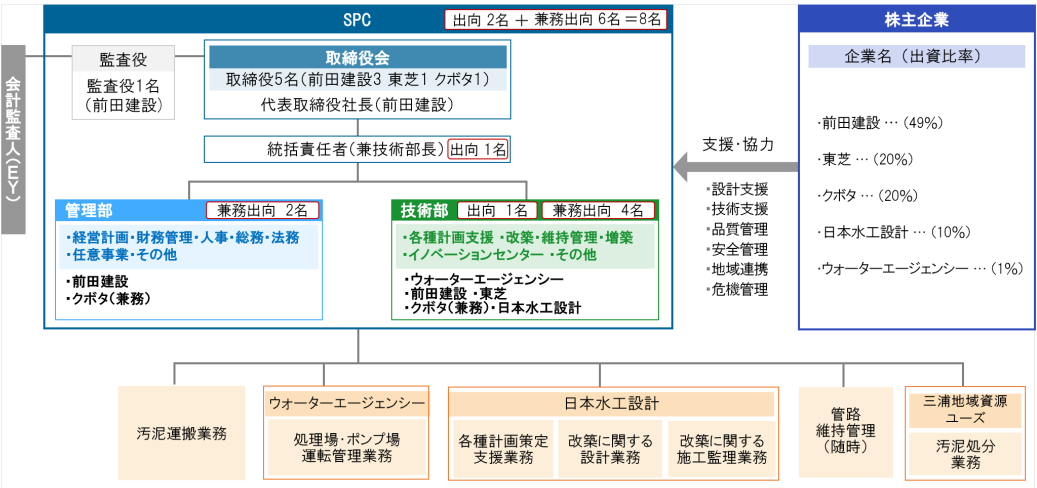


図 2.三浦下水道コンセッション株式会社の組織体制

株主企業の責任・役割

前田建設	東芝	クボタ	日本水工設計	ウォーターエージェンシー
■ コンセッション運営の知見提供 ■ 土木・建築の改築計画等の策定支援 ■ 事業運営支援	■ 重電設備企業の知見提供 ■ 電気設備等の最適化・改築計画等の策定支援 ■ 改築・修繕支援	■ 水環境設備企業の知見提供 ■ 機械設備等の最適化・改築計画等の策定支援 ■ 改築・修繕支援	■ 水関連コンサル企業の知見提供 ■ スtockマネジメント計画等各種計画策定支援 ■ 計画策定・設計	■ 本施設維持管理等の知見提供 ■ 運転管理業務、維持管理・修繕計画等策定支援 ■ 運転管理

(■ : 役割 ■ : 責任)

図 3.株主企業の責任・役割

1-3.内部統制

運営事業開始に伴い、内部統制の基本方針、企業行動憲章を定め、内部通報窓口を設置。
また、透明性と公正性が高いコーポレートガバナンスと、企業倫理に優れた内部統制として技術部と管理部の2部門を設置。

図 1-4 のとおり、4 階層の複層的なセルフモニタリング体制を構築しており、第 1 四半期を対象とした下記の会議を開催した。

- ・業務改善会議（1 次）を毎月実施。
- ・業務改善会議（2 次）を 7 月に実施予定。

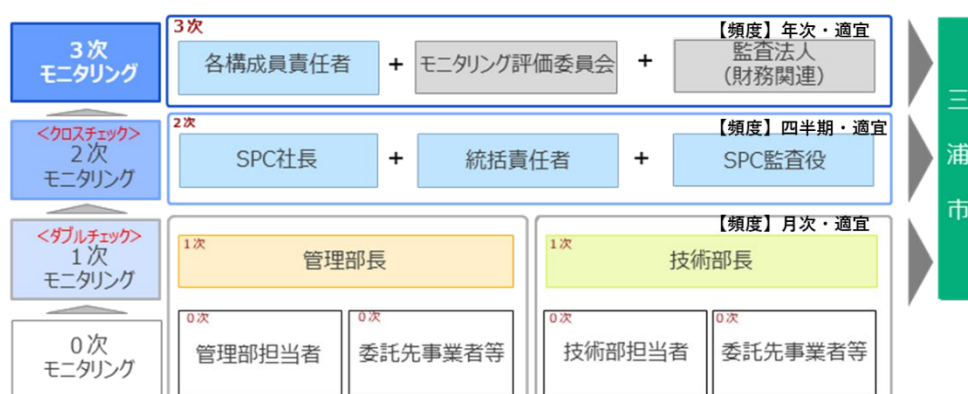


図 1-4.セルフモニタリング体制図

会社法、社内規程に基づき取締役会を実施した。

- ・取締役会を 4 月に 1 回、6 月に 2 回実施。
- ・定時株主総会を 6 月に実施。

第 1 期(2022 年度)計算書類について、会計監査人による外部会計監査を受け、監査報告書で無限定適正意見が表明された。

2. 業務実施状況

2023 年度経営計画で策定した計画の実施状況は以下の通り。

第 1 四半期は、円滑に運営がなされた。

【凡例】

計画：2023 年度経営計画で策定した計画

実績：2023 年度第 1 四半期の実績

今後：2023 年度第 2～4 四半期の予定

2-1.経営に関する計画

(1) 環境対策

水処理棟屋上への太陽光発電設備の設置に向けて、第 1 四半期は交付金の申請作業を行った。
今後は交付決定後に設計業務委託契約、工事請負契約の締結に向けた作業を行う。

計画	水処理棟屋上への太陽光発電設備の設置
実績	交付金の申請
今後	交付決定後、第 2・3 四半期に設計・工事契約締結予定、第 4 四半期に設置工事完了予定

2-2.改築及び増築に関する計画

(1) 改築

今年度予定している工事（東部浄化センター汚泥処理棟空調換気設備工事（仮称）他）は、
第 3 四半期頃に発注を予定しているため、第 1 四半期は発注に向けた準備を行った。

計画	年度改築実施覚書に定められた改築工事を実施
実績	既存の詳細設計のレビュー、地元企業の情報収集、施工地域の調査等発注に向けた準備の実施
今後	第 3 四半期頃から発注予定

(2) 増築

今年度予定している工事（金田岩浦地区枝線増築工事（仮称））は、第 4 四半期に発注を予定しているため、第 1 四半期は発注に向けた準備を行った。

計画	年度増築実施覚書に定められた増築工事を実施
実績	設計委託内容の検討、枝線増築箇所の現地確認
今後	第 3 四半期に設計、第 4 四半期から発注予定

2-3.維持管理に関する計画

(1)処理場・ポンプ場の維持管理

処理場・ポンプ場の維持管理は、運営開始以前も本施設の運転管理を担ってきた(株)ウォーターエージェンシーに委託をしている。第1四半期に要求水準未達はない。

計画	運営開始以前も処理場・ポンプ場の運転管理を行っていた(株)ウォーターエージェンシーに委託することで、維持管理の継続性を確保 要求水準の遵守
実績	計画通り
今後	要求水準の遵守

(2)管路の維持管理

第1四半期は、巡視対象路線を決定し、巡視マニュアルや記録様式を作成した。市民からの通報は3件あり、全て対応済みである。

計画	2023年度経営計画に記載の維持管理計画を実施 管路のつまり、溢水など市民からの通報に対応
実績	巡視対象路線の決定、巡視マニュアルや記録様式の作成 市民からの通報が計3件あり、全て対応済み
今後	第3四半期までに巡視マニュアルに基づく巡視を試行し、以降に本格的な巡視を実施 市民からの通報に対応

2-4.地域貢献に関する計画

(1)地域貢献

第1四半期は11月に三浦地域で開催されるみうら市民まつりへの参加に向けて、参加事業企画書を提出した。また、6月に地元観光関連会社と市内イベントに関するヒアリング、及び本事業のPR活動に関する意見交換を実施した。

計画	三浦地域で開催されるイベントへ参加 本事業のPR活動に関する企画立案に向けた準備を実施
実績	11月に開催されるみうら市民まつりへ参加事業企画書を提出 6月29日に地元観光関連会社と市内イベントに関するヒアリング、及び本事業のPR活動に関する意見交換を実施
今後	みうら市民まつりへ出展(11/19(日)開催予定)

(2) 広報活動実施計画

第 1 四半期は、見学会の開催に向けて、順路の検討とヘルメット等の安全備品の整備を行った。

計画	地域住民や地元教育機関向けに処理場施設見学会を開催（10 月以降）
実績	見学会の順路検討、ヘルメット等の安全備品の整備を実施
今後	見学会を開催するために、詳細を検討

(3) 地元企業の利活用に関する事項

改築工事や任意事業関連工事について、第 1 四半期では発注していない。維持管理関連の委託業務のうち、汚泥運搬業務は、神奈川県内の業者に発注した。

計画	以下の工事を地元企業へ発注することを目標に設定する ・改築工事（土木建築と管路施設） ・維持管理関連委託業務 汚泥運搬及び各種修繕工事（本管、マンホール、公共汚水ます） ・任意事業における栽培施設の設置工事等
実績	汚泥運搬業務は、神奈川県内の業者に発注 改築工事、修繕業務（本管、マンホール、公共汚水ます）及び任意事業関連工事は、第 1 四半期の発注なし
今後	工事を発注する際に、地元企業への発注を優先

2-5.任意事業に関する計画—下水道資源を活用した高付加価値作物の生産事業

(1) 栽培作物の選定と栽培施設の検討

第 1 四半期は、三浦初声高等学校の関係者と検討会を実施し、栽培作物の選定を開始した。
また、栽培設備について、発注予定業者との打ち合わせを実施した。

計画	2023 年 4 月～9 月までの間に神奈川県立三浦初声高等学校都市農業科の関係者と検討会を実施
実績	三浦初声高等学校の関係者と検討会を実施し、栽培作物の選定中 栽培設備について、発注予定業者との打ち合わせを実施
今後	栽培作物の決定、実施体制の確立を実施

(2) 栽培施設の設置と栽培準備

第 1 四半期は、計画通り栽培施設の設計及び建設は実施していない。

計画	2023 年 9 月～2024 年 3 月までの間に栽培施設の設計及び建設
実績	なし
今後	栽培施設の設置及び試運転を実施

3. 財務管理

3-1.財務状況

表 3-1.財務状況

【単位：千円】

	2023年度			
	計画(4月～6月) (A)	実績(4月～6月) (B)	差額(4月～6月) (C) = (B) - (A)	(参考) 計画 (2023年度通年)
経常収益				
利用料金	49,900	46,276	3,624	193,925
計画支援報酬	—	—	—	3,020
営業外収益	—	—	—	—
経常費用				
売上原価	36,522	26,564	9,957	149,106
販売費及び一般管理費	9,036	8,612	424	26,133
営業外費用	4,872	1,613	3,260	10,307
経常損益	△530	9,487	△10,017	11,398

【経常収益】

利用料金収入について、計画額と大幅な乖離はない。

【経常費用】

電力費について 2023 年度経営計画策定時の国内企業物価指数（電力）から、上昇を見込んでいたが、実際は激変緩和措置が適用されており、想定より下回った。また、管路の突発的修繕が第 1 四半期において発生しなかったことから、売上原価が計画額以下となっている。

営業外費用については、発生予定の費用削減により、計画額以下となっている。

3-2.2023 年度第 1 四半期時点での KPI（財務管理目標値）の状況

財務管理目標値について、達成状況を報告する。

表 3-2.KPI 達成状況

項目	目的	目標値	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
経常収支比率	収支バランスの管理・持続可能性の確保	100.0%	4.9%			
売上高経常利益率	事業運営の収益性確保	6.8%	20.5%			
当座比率	短期的な財務健全性・継続性の確保	120.0%	314.3%			
自己資本比率	中長期的な財務健全性・継続性の確保	45.0%	52.9%			

【第 1 四半期の内容】

- ・経常収支比率について、経常収入÷経常支出で算出している。

利用料金収入はメーター検針から入金までに時差が生じること、また事業開始直後のため入金額が少なかったことから経常収入の値が小さくなり、経常収支比率が低くなった。しかし、第 2 四半期では入金額が増加するため改善する。

- ・売上高経常利益率、当座比率、自己資本比率は、当社内目標値を達成した。

4. 2023 年度第 1 四半期時点での KPI（財務管理目標値以外の目標値）の状況

財務管理目標値以外の目標値について、報告する。

下記の表では、2023 年度末目標値に対する、現時点の KPI 達成率を記載している。

2023 年度末目標値に対し、現時点で遅延は生じず順調に進捗している。

年度末目標値の達成に向け、継続的に業務を実施する。

表 4.KPI 達成状況

項目	内容	モニタリング頻度	年度末目標値	単位	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年間計	KPI達成率
【コンプライアンス】										
苦情・要望・相談等対応率	市民等から寄せられる苦情・要望・相談事項の対応率	四半期	100%	発生件数	3				3	100%
				対応件数	3				3	
コンプライアンス研修実施率	コンプライアンス研修の年間計画に対しての実施率	四半期	100%	計画件数	0	2	0	1	3	0%
				実施件数	0				0	
災害・事故対応訓練実施率	BCP内の訓練計画の計画に対しての実施率	半期	100%	計画件数		3		2	5	0%
				実施件数					0	
【環境対策】										
下水道汚泥リサイクル率	汚泥発生量に対して、堆肥やセメント材料としてリサイクルされた割合	四半期	100%	汚泥発生量 (単位：t)	309.72				309.72	100%
				汚泥利用量 (単位：t)	309.72				309.72	
臭気・振動・騒音発生件数	臭気・振動・騒音に関する苦情の発生件数	四半期	0 件	発生件数	0				0	0件
【その他】										
帳票類電子化率	帳票類の電子化計画に対する実績値	四半期	－	現在、データドリブンによる事業運営の高度化に向けて電子化すべき帳票類の選定等計画を策定している。						
ICT導入率	ICT導入に関する計画に対する実績値	半期	－	現在、ICT導入に関する計画を策定している。						